

令和2年3月4日発行

取組状況 (1)

広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等_要配慮者利用施設の避難確保計画の作成

要配慮者利用施設の避難確保計画作成講習会【山形市】

浸水想定区域内にあっては、地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の所有者又は管理者は、避難確保計画の作成・訓練の実施が義務となり避難確保計画の作成支援として講習会を開催しました。

前期講習会では、「計画の作成方法を学ぶ」をテーマに、避難確保計画の作成に必要な情報や作成上のポイントを修得していただきました。

後期講習会では、各施設で検討を行った避難確保計画について、参加者同士が課題や工夫を共有することで、避難確保計画の充実を図りました。

前期講習会

- 日時:令和元年11月18日(月)10:00~12:00
- 場所:ビッグウイング4階 中会議室
- 参加者:約50名(山形市内の要配慮者利用施設の施設管理者又は所有者、避難確保計画の作成担当者)

講演のようす



受講する施設管理者の皆さん



水災害予報センター、山形地方気象台、山形河川国道事務所、県土整備部による講演が行われた。

後期講習会

- 日時:令和元年12月16日(月)14:00~16:00
- 場所:ビッグウイング2階 交流サロン
- 参加者:約70名(山形市内の要配慮者利用施設の施設管理者又は所有者、避難確保計画の作成担当者 他)

ワールドカフェのようす



カフェマスター(山形市職員)による総括



参加者が班に分かれ、ワールドカフェ形式でテーマに沿って意見交換し、課題や工夫を共有した。

要配慮者利用施設の避難確保計画作成講習会【上山市】

浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と内容の充実を支援するため、計画の必要性や計画作成のポイント等に関する講習会を上山市で開催しました。

【前期講習会】

- 日時:令和2年1月8日(水)14:00~16:00
- 場所:上山市役所大会議室
- 参加者:要配慮者利用施設の管理者 約30名
- ・計画作成方法におけるポイント(防災気象情報の活用方法や避難確保計画の作成方法等)を説明

【後期講習会】

- 日時:令和2年2月3日(月)14:00~16:00
- 場所:三友エンジニア体育文化センター
- 参加者:要配慮者利用施設の管理者 約30名
- ・ワールドカフェ形式で、各施設における計画作成における課題(弱み)と施設で工夫している点(強み)を話し合い(共有し)、よりよい計画とする。

前期講習会の開催状況



企画調整・運営マニュアルを基に
上山市単独で開催

マイ・タイムライン作成講習会【南陽市】

～洪水から身を守るために。県内初で開催しました。～

住民が洪水時の円滑な避難を行うことを可能とする『マイ・タイムライン』の作り方を学習していただくことを目的として実施。

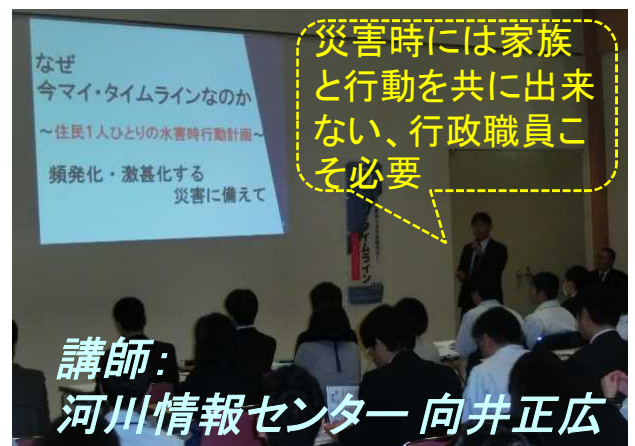
マイ・タイムラインの作成を通して、自宅周辺の洪水リスク、避難場所、防災情報の入手方法等を学習していただき、自分自身の避難方法を考えました。

参加者からは、この取組みを地域に広めたい等、積極的な意見をいただきました。

～マイ・タイムラインを作成出来る様に指導することを目的とした講習会を開催～

- 日 時: 令和2年1月24日(金)13:30～15:30
- 場 所: 南陽市 シェルターなんよう
- 参加者: 約90名(最上川上流の県市町の防災担当職員)

～なぜ今マイ・タイムラインなのか～



～住民を対象にマイ・タイムライン作成を体験～

- 日 時: 令和2年1月25日(土)13:30～15:30
- 場 所: 南陽市役所 大会議室
- 参加者: 約140名(一般)



編集後記

気象庁では、東日本の広い範囲で顕著な災害をもたらした台風19号に「令和元年東日本台風」と名称を定めました。気象現象としては1番目の昭和29年の洞爺丸台風から数え31番目のことです。また山形県内では異常とも言えるほどの小雪の年でした。

来年度は減災対策協議会の5ヶ年目標の締め年です。次期目標に取り組むためにも各自治体でも積極的に新たな取組みを行えるよう協議会事務局でも協力していきますので情報提供いただければと思います。